

造りて蔵す

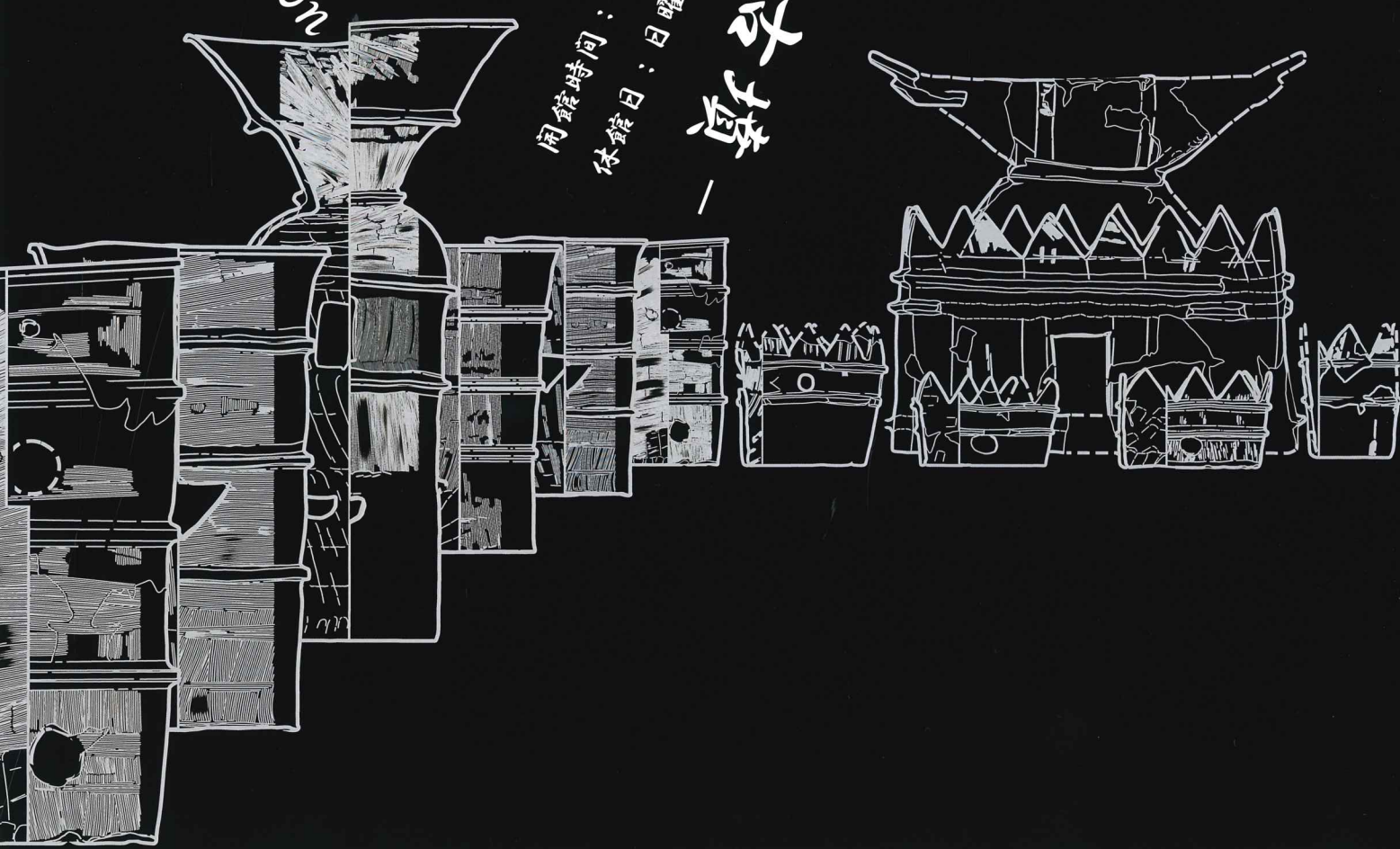
— 植輪から築る年備の巨大土塔 —

2021.11.01 Mon
2022.01.28 Fri

会場：岡山市埋蔵文化財センター展示室
入館料：無料

開館時間：9:00～16:30
休館日：日曜日、国民の休日、年末年始

岡山市埋蔵文化財センター
令和3年度企画展



本展の内容について

岡山市では史跡の指定や整備・活用を行うことを目的として、そのための詳しい情報を得るために金蔵山古墳や造山古墳とその陪塚の発掘調査を進めています。

金蔵山古墳では、昭和28年に発掘調査されましたが、このときは後円部墳頂を主としたものでした。近年の調査では、墳丘の構造や埴輪の配置などに新たな知見が得られました。東西のくびれ部にある島状遺構と造り出しでは、建物形埴輪を柵形埴輪で囲った配置が復原されますが、それぞれで建物形埴輪の種類が異なるため、違う祭祀が行われたようです。

造山古墳は全長約350mで、自由に立ち入ることのできる日本最大の古墳です。これまで発掘調査されたことがないので、時期の推定には墳丘の形と拾われた埴輪に頼らざるを得ませんでした。しかし、今回の発掘調査で出土した埴輪を加えて、より詳しい議論ができるようになるでしょう。この展示の目玉の一つ、唯一完形に復原できた円筒埴輪もお楽しみ下さい。

埴輪に興味をお持ちの方は、よく似た円筒埴輪でも透かし孔の位置や形に違いがあることにお気づきでしょう。工人の技術差なのか、はたまた製作期間の差なのか、同じ種類の埴輪でも出来上がりに精粗があることなどを見ていただくのもいいでしょう。たとえば、スツとした円筒埴輪もあれば何となくボテツとしたものもあり、また底がゆがんだものもあります。

それでは、吉備を代表する二つの大古墳、金蔵山古墳と造山古墳の埴輪世界へご案内します。



特別講演会

各回、電話での事前申し込みが必要です
電話：086-270-5066（先着順）

受付開始

第1回：12月6日（月）9：00～
第2回：1月5日（水）9：00～

第1回 「古墳造営に支払われた稲束」

第2回 「畿内の埴輪」

日時：令和3年12月18日（土）
13：30～15：00

日時：令和4年1月15日（土）
13：30～15：00

講師：北條芳隆
（東海大学 教授）

講師：廣瀬 覚（奈良文化財研究所
都城発掘調査部考古第一研究室長）

会場：岡山市埋蔵文化財センター

会場：岡山市埋蔵文化財センター



金蔵山古墳出土埴輪群



造山古墳埴輪出土状況



- マスク着用のうへでご入館ください。
- 37.5度以上の発熱、また風邪などの症状がある方はご入館いただけません。
- 新型コロナウイルス感染拡大の観点から、本展の予定・内容に変更が生じることがあります。その場合は当館ホームページ等を通じて随時お知らせいたします。

岡山市埋蔵文化財センター
OKAYAMA CITY ARCHAEOLOGICAL RESEARCH CENTER

● 〒703-8284 岡山市中区網浜 834-1 ● TEL 086-270-5066/FAX 086-270-5067
● URL <http://www.city.okayama.jp/kyouiku/bunkazai/maibun.html>